

さわがせ 埼玉

第15回総会開催

バトンタッチ

新会長に原敏成氏

去る7月3日、川越東武ホテルで第15回総会と懇親会が開催され、来賓として、タイ王国特命全権大使タナティップ・ウパティシン氏、ものつくり大学理事長の石岡慎太郎氏等の出席がありました。議案の一つ、役員改選では、設立時より会長を務めてきた原宏会長が勇退し、後継として、武州ガス(株)社長の原敏成氏が、満場一致で選任され、また笠井幹事の後任として長尾美津子氏が選任されました。

総会後には、タイ王国特命全権大使の、タナティップ・ウパティシン氏による「日タイ関係について」と題した講演会が行われました。(P3で紹介) 総会後行われた懇親会には、来賓の皆様を始め、当会顧問の山口泰明衆議院議員も出席され、挨拶に立った原新会長は、同大使が講演で強調した日タイの経済協力の内容を受け、当会の「草の根外交」の更なる推進を出席者に呼びかけました。

◀最後となる議長を務める原会長



▶会長に選任され挨拶に立った原敏成新会長



▶講演するタナティップ・ウパティシンタイ王国大使



▶総会で挨拶する、ものつくり大学理事長の石岡慎太郎氏



▶忙しい中駆けつけ挨拶する、当会顧問の山口泰明衆議院議員



退任の挨拶 会長 原宏



7月の総会をもちまして、埼玉・タイ王国友好協会の会長を退任させていただきますことになりました。皆様方のご支援により本日まで無事会長を務めることができ、深く感謝とお礼を申しあげます。次第で

本協会は、埼玉県の国際化の進展とタイ王国との更なる友好関係の維持確立を図り、民間レベルでの「草の根外交」を推進するために、前埼玉県知事 故土屋義彦様の全面的なご支援を頂き、1999年3月16日に設立されて以来、土屋知事様、上田知事様、埼玉県庁、埼玉県国際交流協会、多くの会員の皆様のご支援・ご協力をいただき、活動を行ってまいりました。

チェンマイ大学の緑茶カテキンのガン抑制効果の研究に対し、埼玉県立がんセンターの協力のもと、狭山茶の種子をタイロイヤルプロジェクトに持参・寄贈して協力したことや、国民が豊かになるためには教育が大事であり、恵まれない教育環境であるタイ王国北部の少数民族民族に対し、教育関連施設の寄贈を行い、教育環境の改善の手助けを行うことなどに力を注いでまいりました。皆様のご尽力・ご協力のおかげでタイ王国のお役に立てたことと思っております。

私は会長在任中に10回程タイを訪問いたしました。教育関連施設の引き渡し式に出席をし、その時の様子を振り返りますと、タイの子供たちの輝いた瞳や笑顔に感動したことがあつたため思い出され、本事業が子供たちの未来のためにタイ王国のために役立っているものとあらためて確信した次第であります。また、訪問の際は、プミポン国王やシリキット王妃にお会いする機会もいただき、大変うれしい思い出となりました。当協会会員の皆様を代表し、タイ王国よりディレクナポン勳章もいただき、大変光栄なことと感謝を致しております。

設立以来15年間に渡り活動が続けられましたのも、皆様方一人お一人のご厚情のおかげと深く感じており、今後も新会長のもと、更なるご支援・ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

長いあたたかい友情、ご支援に重ねて御礼申し上げます。

最後になりますが、皆様方の平日頃のご協力に心より感謝申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸と、埼玉・タイ王国友好協会の益々の発展をご祈念申し上げます。退任にあつた私の挨拶とさせていただきます。大変長い間お世話になり、ありがとうございました。

役員紹介

総会審議の結果、次の方々に役員に就任していただくことになりました。
(敬称略)

草の根外交の更なる推進を

会長 原 敏成



さて、「埼玉県とタイ王国との友好親善を図ること」を目的として設立された当協会も皆様のご協力のもと、15年目を迎えることができました。

近隣諸外国との外交問題や世界各地での紛争など、不安定な一面をのぞかせる世界情勢でございますが、このようなときこそ、当協会が設立当初より行っております民間レベルの「草の根外交」が重要だと感じております。

15年目を迎えて心新たに、タイ王国との友好親善の為に尽力いたす所存でございますので今後とも皆様のご指導・ご鞭撻をいただけますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

会員の皆様には常日頃より当協会の活動に対しましてご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

去る7月3日に行われました総会にて、新たに会長に選任されました武州ガスの原でございます。

新たな船出となり、不慣れな点が多々あるかと存じますが、今後とも変わらぬご厚情を賜りたく宜しくお願ひ致します。

名誉会長(新)



原 宏
武州ガス(株)
取締役会長

顧問



山口 泰明
衆議院議員

顧問



土屋 品子
衆議院議員

顧問



西條 正和
元新電元工業(株)
常務取締役

副会長



松永 功
埼玉県商工会議
所連合会会長

副会長



利根 忠博
埼玉県経営者協
会名誉会長

幹事



五十子 敦
本田技研工業(株)
埼玉製作所
事業管理部長

幹事(新)



長尾 美津子
ガールスカウト
埼玉県連盟
副連盟長

幹事



前島 静頭
医療法人顕正会
理事長

幹事



細沼 哲夫
日本仲管(株)
代表取締役会長

幹事



藤池 誠治
(株)デサン
代表取締役

幹事



吉野 寛治
吉野電化工業(株)
代表取締役

幹事



小嶋 一晃
(株)テレビ埼玉
取締役編成
技術担当総務局
長

幹事



島村 健
(株)島村工業
代表取締役

監事



大久保 敏三
(株)丸広百貨店
代表取締役

幹事



関根 勇治
初雁興業(株)
取締役社長

駐日タイ王国大使総会で講演



今年の総会では、駐日タイ王国特命全権大使のタナティップ・ウパティシン氏に「日タイ関係について」という演題でご講演をいただきました。

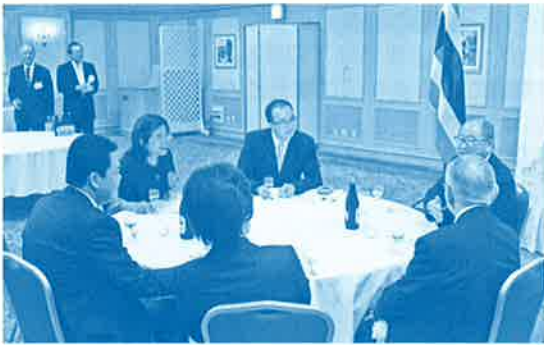
タイ王国と日本は古くからの友人であり、約600年間続く歴史的絆があること、日タイ修好宣言の調印が交わされて以来、125年以上に渡り皇族と王室、政治、経済、商業分野、人々などあらゆる面で親密な関係を築いていることなどについてお話しいただきました。

近年では両国の首相レベルでの外交が多く行われており、経済と社会の発展・安全・政治的分野・国際的問題などに対する協力関係を強化する「戦略的パートナー」としての関係を築いていること、日本は数十年にわたり、タイにおける最大の貿易パートナー・出資者であること、観光産業についてもタイへの日

本人観光客、日本へのタイ人観光客が互いに多く、民間レベルでの交流も多いことなどを例に、日本とタイ王国の結びつきの強さとお互いが良きパートナーであることを話されていました。

また、近年の両国間の首相の動向と今後のタイ王国の更なる発展の可能性についてふれ、今後日本と東南アジアの窓口としての活躍が期待されるタイ王国の魅力についてもお話いただきました。

日本とタイ王国の今後の関係が益々強まること、お互いが素晴らしい友人であることを改めて感じさせていただいたご講演でした。



▲タイ王国大使と歓談する原会長等

総会に特別ゲスト



▲タイ王国大使と交歓するものづくり大学の皆さん

今年の総会には、特別ゲストとしてものづくり大学の石岡理事長をはじめ稲永学長、北尾専務理事、そしてタイご出身のピチャイ教授のご四方にご出席をいただきました。

ものづくり大学は、タイ王国のものづくり大学である「泰日工業大学」と交流協定を締結し、教授陣の交流はもとより、相互にインターンシップを行うなど連携を深めています。

ものづくりを通して人づくりを実践されている同大学が、今後さらにタイ王国との交流をされ、同大学で学んだタイの学生が当協会の教育関連施設の建設に関わることが近い将来あるかもしれません。故土屋先生が設立にご尽力された当協会と同大学が「草の根外交」の場で協力できる日が近々来ることを、会員一同望んでおります。

今年も大賑わい タイ・フェスティバル2013

当会と同じ年数を重ねているタイ・フェスティバル！今年も5月11、12日の2日間、都内代々木公園で開催されました。原会長の代理で訪れた吉田事務局長等は、タナティップ・ウパティシン大使の出迎えを受けた後、オープニングセレモニーに出席、タイの伝統舞踊や音楽、ムエタイのデモンストレーションを楽しみました。その後当会が紹介されたテントなど会場を見学しました。今年もマスコットキャラが登場、会場を盛り上げていました。



タイ王国大使の出迎えを受ける一行



人気のマスコットキャラクター

ダルニー奨学金 本年度の授与者

本年度の新規授与者は、次の5名です。



アプハットサラ、
サワットナティ
13歳



スパチャイ・
サチュウオン
13歳



ナムフォン・
イエンサンホー
13歳



ナクハリン・
サッテイデー
13歳



スリントーン・
サラングム
13歳

タイにアクセス

会員 VOICE

発展と活力を実感しました

川越市
飯島栄二さん



これまで数回親善訪問に参加しましたが、その度にタイ王国の発展と活力を感じています。今回の訪問先バンジャムラン小学校やアジアホープ孤児院の子供達もとても純朴で人懐こく、訪れて本当に良かったと思えました。

また、日本伸管タイランド様の工場も見学させていただきました。大洪水のあったロジャナ工業団地内にあり、洪水後に建設したそうです。コピー機の部品の製造をしていて、とてもきれいで機能的な工場でした。工場の方からは、人材の確保が大変だとの話をお聞きしました。ここの240以上の企業の半分以上が日系企業だそうです。大洪水の影響も感じられずとても活力を感じました。

これからも両国が、友好を重ねて共に物心両面で豊かになれば良いと強く感じた訪問でした。

日本語入り手ぬぐい

タイで活躍

堀田さんの活動を支援

日本語入り手ぬぐいといえば、日本の家庭には何本かが眠っているのではないのでしょうか。

タイのチェンマイで日本語を教えている堀田繁さんから、去る7月、事務局にタオル、手ぬぐい提供の依頼がありました。その理由は、日本語を教える際に、子供達が日常的に日本語を目にすることで、勉強の意欲を高めたい、とのことでした。

そこで周辺の会員や社員、仲間呼びかけたところ、タオルや手ぬぐい60本余りが集まり、9月、衣類なども加えて堀田さんに渡しました。

堀田さんは、元新電元の社員で、タイ語が自在、当会の会員です。現在、ロングスティをしながら、タイの子供達に日本語を教えています。



堀田繁さん

タイのお菓子

カノム・クロックを紹介

南陵高校文化祭で



皆さんはカノム・クロックをご存じでしょうか？カノム・クロックとはココナッツミルク・米粉等を混ぜて、たこ焼き器のような鉄板で焼くタイの代表的な甘いお菓子です。県立南陵高校3年1組の生徒達が、9月に行われた文化祭で、カノム・クロックを調理、販売しました。

タイのお菓子に決めた理由を担当の奥間先生に伺ったところ、先生がタイに行こうとしていたことや、食べ物を出し物にしたいと考えていたことからカノム・クロックを生徒達に提案し決定したそうですが、生徒達を盛り上げたのは、生徒の一人が調べてきた、このお菓子にまつわる悲恋の話だったそうです。その話を反映させたTシャツも作成する熱の入れよう、当日は何と200個のカノム・クロックを売り上げるといふ結果に結びついたとのことでした。調理には大変苦労したようですが、生徒達にとって、異なる食文化に触れる機会になったとのことでした。

この調度品・民芸品はタイで活躍した日本語タオルのお礼として、堀田氏よりいただいた象の置物や仏像などであり、タイ王国の学生の為に贈ったタオルのお礼としていただいた民芸品が今度は日本の高校生の活動に一役買いました。

この調度品・民芸品はタイで活躍した日本語タオルのお礼として、堀田氏よりいただいた象の置物や仏像などであり、タイ王国の学生の為に贈ったタオルのお礼としていただいた民芸品が今度は日本の高校生の活動に一役買いました。

●日本は、本格的な冬到来。タイは旅行のベストシーズン。世界の広さを感じます。

●南陵高校の生徒の皆さん、お貸しした品物は、お役に立ちましたか。

編集後記

埼玉・タイ王国友好協会ホームページ

URL:<http://www.saitama-thai-fa.ecnet.jp/>

●会員増強にお役立て下さい

会 員 募 集

年会費 法人会員 2万円 問い合わせ TEL:049-247-5428
個人会員 2千円 FAX:049-246-2118

(武州ガス㈱内)